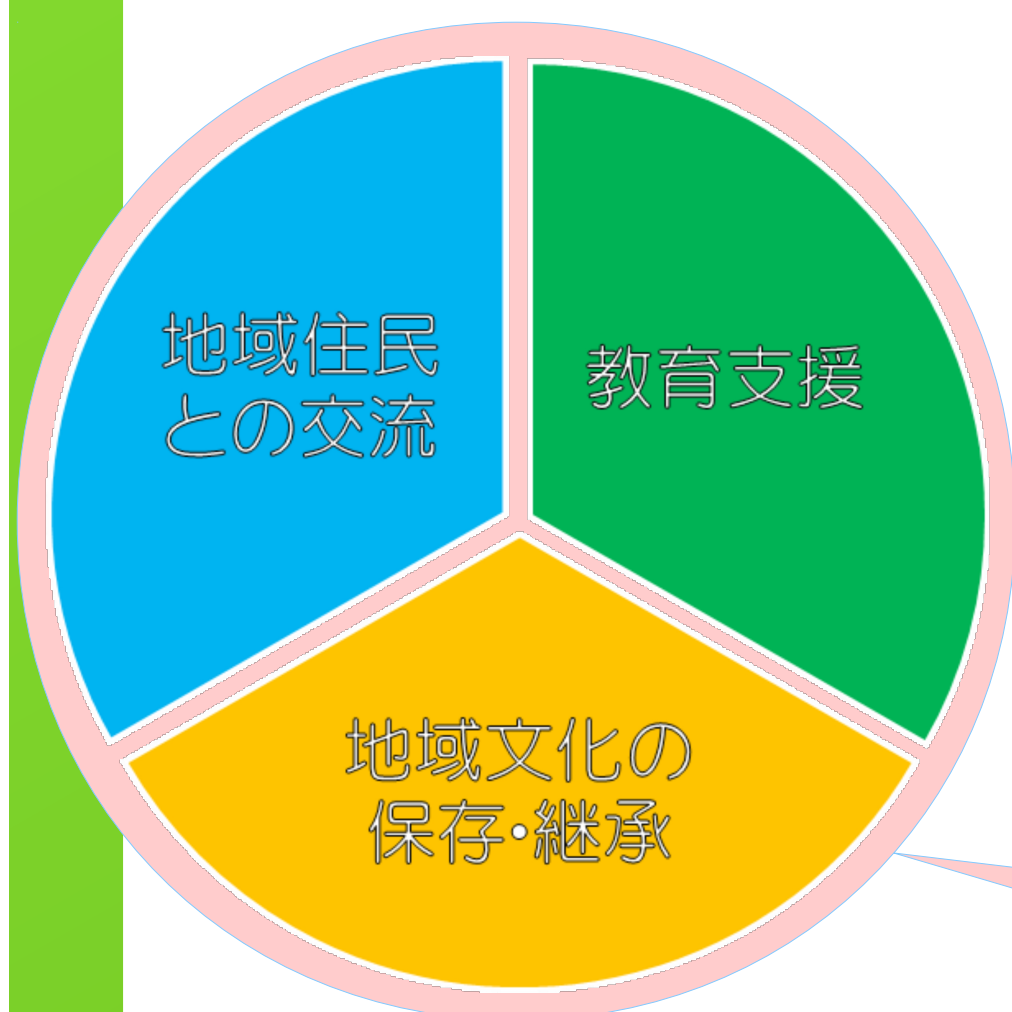


大学進学は当たり前？ —まつだいと私たち—



まつだい早稲田 じょんのびクラブ



- ・新潟県十日町市松代地域及び蒲生集落を拠点に活動
- ・少人数体制
…現在9人在籍
- ・週1のミーティング@東京
月1の活動@現地

活動の三本柱

現状

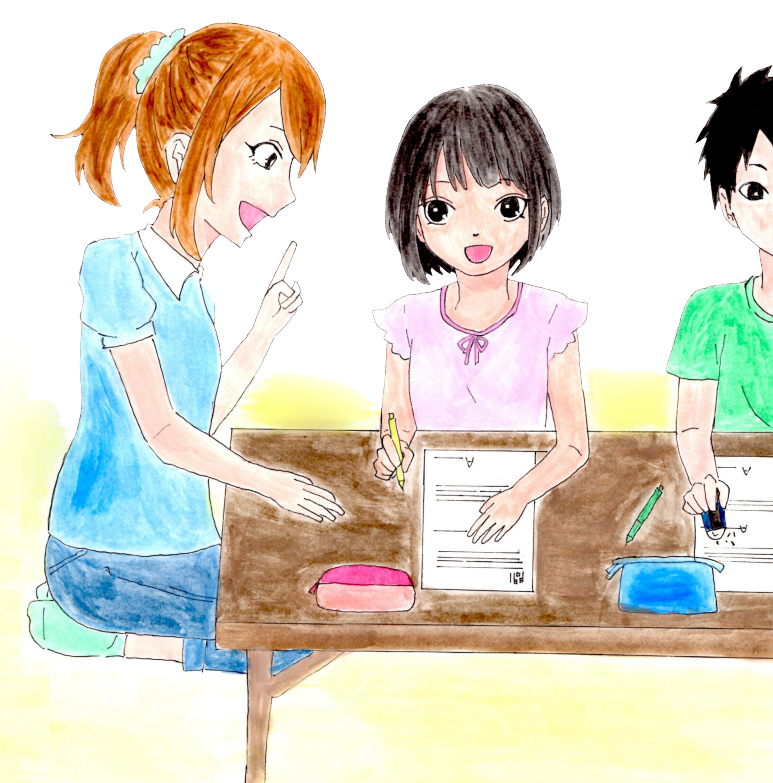
- ・1970年代より過疎化が進行
…全生徒数松代小学校136名、松代中学校61名(平成27年度)
- ・少子化
→塾や予備校施設の経営も難しい。
- ・松代高校
…松代の子どもたちが多く進学する高校。
県内最下位の偏差値。
→難関大学への進学が非常に厳しい現状。



松代塾ジュニア

- ・目標
…学力向上よりは、学ぶことの楽しさを教えることに焦点
→自発的な学習習慣を身に付けられる！！
- ・「教師」…じょんのびクラブのメンバー+一般参加者
- ・「生徒」…有志の松代小5、6年生と松代中の子どもたち
- ・科目：英語、数学、総合
…総合を学習科目とすることで遊びの中に学びを取り入れる
(例：英単語かるたや百人一首など)
→学習の壁が低くなり、興味関心の対象を広げられる！！

松代の子どもたちの
学習環境を危惧した
“まつだい早稲田協力会”
共催の下、
5年前に開講したプロジェクト



新たな発見・さらなる課題

- ・受験・進学に対する意識の低さを再認識
…仕事に限られているため、将来の自分像と向き合う機会が少ない。

↓
外から来た「教師」たちが情報源となり、その機会をつくる。

↓
学習の意欲が増す。

- ・「教師」の意識と実力
…知識量や教え方にややムラがある。

↓
塾講師や家庭教師の未経験者も受け入れるスタンスは変えないよう、事前準備を手厚くする。
教えるという責任感を持つ。

↓
学生にとっても自分の学問とボランティア経験の結びつく、質の高い経験に。



これから

松代塾ジュニアは今年で5年目という節目を迎えます。プログラムを始める前に我々が捉えていた課題、プログラムを経験して発見した新たな課題、その両方を再認識し、今まで以上に良い松代塾ジュニアが開催できるよう、これからも精進いたします。

